



天文台だより

銀河の森天文台
2017 秋号
Vol.77

第9回陸別スターライトフェスティバル大盛況！



4K動画を上映しながら講演をする武田康男氏

7月8日、第9回陸別スターライトフェスティバルを開催しました。今年は、空の探検家武田康男氏の講演会「映像に見る空の不思議」とアンサンブルグループ「奏楽(そら)」によるミニコンサート「奏楽 音楽の贈り物」を開催しました。

講演会では、武田先生が最新の機材で撮影した高解像度4



「奏楽」によるミニコンサートの様子

K動画を用い、空の不思議な雲や虹の様子、南極やアラスカなどでのオーロラの舞いを紹介されました。

ミニコンサートでは、オーボエ岩崎弘昌氏、ヴァイオリン廣瀬綾さん、ピアノ前田朋子さんの3人による息の合った演奏が館内に響き、イベントのフィナーレを飾りました。

天文台屋上では、前回に引き続き、屋台をオープンし、ワンコインでとってもお得な豚丼など新しいメニューが提供されました。



「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

人恋しくなる秋。人によっては、星恋しくなる秋です。物思いに耽る秋には、宇宙は格好のテーマですね。私自身、宇宙のでき方やサイズ、年齢など、宇宙論に思いを巡らすうちに夜明けを迎えたことが何度もありますが、惑星や太陽系など、いわゆる「近場」で勝負に出るのもいいのではないのでしょうか。



(上出洋介館長)

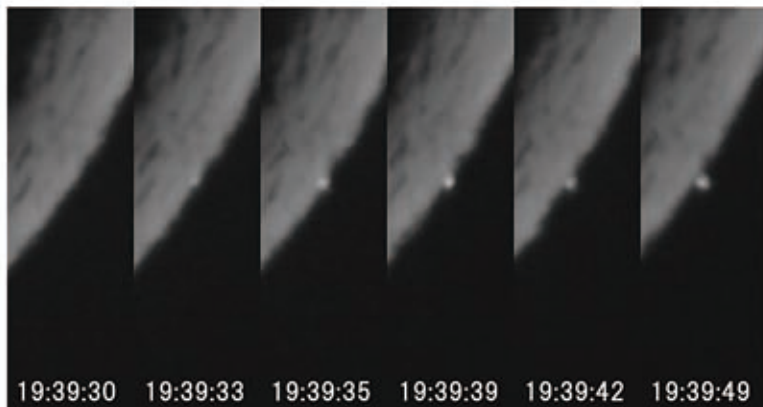
今年も、「近場」での天文現象が沢山あり、ファンを退屈させません。しかし、何と言っても、今年のハイライトは、100年ぶりのアメリカ横断の皆既日食でしょう(8月24日)。多くの日本人が訪れ、その神秘的宇宙ショーに酔ったと聞きます。

ところで、ふだんは明るい光球にかき消されて見ることができないコロナの形状を、皆既日食の2-3分間見ることができます。今でこそ、X線画像でコロナの形を刻々と写真に撮ることはできますが、昔(といっても、ホンの100年前くらい前まで)は、学生アルバイトを沢山雇い、一人一人に担当時間を決めて、素早くスケッチをし、日食コロナの貴重な基礎データになったということです。先人の努力には頭が下がります。

7/25夕方、水星食を観測！

7月25日夕方、大型望遠鏡「りくり」にて水星食を観測しました。水星食は月が水星を隠す現象で、陸別では2013年12月2日以来となります。月に隠れる潜入は雲に邪魔されて観測できませんでしたが、出現は無事とらえる事ができました。月齢2.0の細い月からゆっくりと姿を現す様子が印象的でした。

下の6枚の画像では、中央部分に月の際から徐々に出現する水星の様子がとらえられています。



「水星食」
2017年7月25日 19時39分30秒～49秒JST、水星の出現を観測

暦表 (陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
10月 1日	5:19	17:10	10.9	14:46	0:09
10月 15日	5:35	16:46	24.9	0:16	14:37
11月 1日	5:56	16:20	12.3	14:56	2:01
11月 15日	6:14	16:04	26.3	2:30	14:45
12月 1日	6:33	15:54	12.6	14:28	3:04
12月 15日	6:46	15:54	26.6	3:27	14:17

天文行事&暦

10月

- 4 中秋の名月観望会
中秋の名月
- 6 ○満月
- 8 寒露(24節気:太陽黄経195°)
- 20 ●新月
天王星が衝
(光度:+5.7等, 視直径:3".7)
- 21 オリオン座流星群が極大
(PM8時 最大20個/時)
- 23 霜降(24節気:太陽黄経210°)
- 28 北海道星見人の会2017

11月

- 4 ○満月
- 7 立冬(24節気:太陽黄経225°)
- 11 驚き!おもしろ科学実験2017
- 18 しし座流星群が極大
(AM1時 最大15個/時)
- 新月
- 22 小雪(24節気:太陽黄経240°)
- 24 水星が東方最大離角
(光度:-0.3等, 離角:22°.0)

12月

- 4 ○満月
- 7 大雪(24節気:太陽黄経255°)
- 13, 14 ふたご座流星群観望会
- 14 ふたご座流星群が極大
(PM3時 最大60個/時)
- 18 ●新月
- 22 冬至(24節気:太陽黄経270°)

秋のイベント情報!!

☆名月観望会

今年の中秋の名月が10月4日になるため、観望会を開催します。

開催日時: 10月4日(水)

説明会: 午後7時30分から

☆ハロウィンナイト観望会

10月末日のハロウィンにちなみ、観望会を開催します。観望会では、おぼけみtainな星座や天体をご案内します!

開催日時: 10月28日(土)、29日(日)

☆北海道・星見人の会2017及び特別講演会

北海道の天文愛好家や宙ガールなど星好きな方々が集まる「北海道・星見人の会」及び特別講演会を開催します。

開催日時: 10月28日(土) 午後7時~

特別講演会: 陸別町役場 空井猛壽氏「SORAの南極記」

☆驚き!おもしろ科学実験2017

北海道大学、名古屋大学、北見工業大学などの先生・学生が行う「驚き!おもしろ科学実験2017」を開催します。液体窒素を使った実験など様々な実験が登場します。

開催日時: 11月11日(土)

科学実験コーナー: 午後1時~6時

ミニ講演会: 株式会社イー・ディメンション代表

安藤良美氏:「宇宙の現場を取材して」

※ 開館中は大型望遠鏡での通常観望も常時行っています

☆ふたご座流星群観望会

ふたご座流星群が12月14日の午後3時に極大時刻を迎え、これを前後して流星が多く見られると予想されるため観望会を開催します。

開催日時: 12月13日(水)、14日(木)

説明会: 午後7時30分から

拝啓、天文台より - 「鹿の子斑」 -

先日の夜、鹿が車の前を横切り、走り去っていきました。ヘッドライトに照らされ、背中白い斑点模様が残り、目に残りました。鹿の夏毛にある、白い「鹿の子斑」は、木漏れ日に似て、森の中に溶け込む効果があるそうです。銀河の森ももうすぐ紅葉を迎えます。鹿も夏毛から冬毛になり、鹿の子斑も消える頃、まれに見かける野兎の毛も、茶色から白色へと変化していくことでしょう。時折出会う動物たちからも、季節の移り変わりが感じられます。(守)

ペッコカめぐり「さんかく座」

アンドロメダ座のそばにある小さな星座で、名前の通り三角形の星座です。古くから知られている星座ですが、特に神話があるわけでもなく、明るい星があるわけではありません。けれども周囲に明るい星が無いために、意外と目につく星座です。日本でも三角星と呼ぶ地方があったそうですから、やはりこの三角形は意外と目立つ存在なのでしょう。とは言え、夜空のたくさんの三角形の中からもここがさんかく座となったのかは疑問が残るところです。(中)



天文台からのお知らせ

☆ 10月より開館時間が、13:00~21:30となります。
(昼間13:00~17:00、夜間17:00~21:30)

☆ 年末年始12月30日(土)~1月5日(金)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館 (銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp